

# 第5次行財政改革大綱(前期)成果報告(平成23年度～平成27年度)

<p>基本理念</p>	<p>“改革の先にある未来へ”『市民協働による行政経営の推進』</p>	
<p>基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな行政への転換</li> <li>・経営感覚を持った行政機構の整備</li> <li>・持続可能な財政運営</li> <li>・市民との協働体制の確立</li> </ul>	
大項目	中項目	実施した主な内容
<p>1 小さな行政への転換</p>	<p>1)アウトソーシングの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度の導入</li> <li>【H23年度】道の駅若狭おばま</li> <li>【H24年度】市営駐車場、市営駐輪場</li> <li>【H27年度】食文化館の温浴施設、濱の四季</li> <li>・市民福祉課と上下水道課の一部業務を民間委託した。【H27年度】</li> </ul>
	<p>2)施設の統合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の統廃合</li> <li>【H23年度】田島保育園と内外海児童センターを統合</li> <li>【H25年度】小浜第一、第二保育園、小浜幼稚園を統廃合</li> <li>【H27年度】雲浜保育園と西津保育園を統合・民営化</li> </ul>
<p>2 持続可能な財政運営</p>	<p>1)適正な財政運営の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期財政計画を策定し、計画に基づく予算の編成・執行を行った。</li> <li>・土地開発公社を解散した。【H27年度】</li> </ul>
	<p>2)財源の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税の特別徴収の実施や滞納整理機構への委託を実施した。</li> <li>・保険料、公営住宅家賃の徴収強化を図った。</li> <li>・市有地の公募売却や賃貸を実施した。</li> <li>・ふるさと納税制度を活用し、本市への寄附を促進した。</li> </ul>
	<p>3)受益と負担の適正化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予算査定時に「使用料・手数料の確認シート」によりヒアリングを実施し、見直しを行った。</li> </ul>
<p>3 経営感覚を持った行政機構の整備</p>	<p>1)効率的な業務体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内全課にダイヤルインを導入した。【H25年度】</li> <li>・電子入札を実施した。【H26年度】</li> <li>・嶺南市町で構成する「廃棄物処理広域化準備室」を設置し、「嶺南4市町ごみ広域処理施設 広域化基本構想」を策定した。【H26年度～】</li> </ul>
	<p>2)適正な人事管理の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数の適正化を行った。(H23.4.1:307人→H28.4.1:296人)</li> </ul>
	<p>3)職員の人材育成と意識改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県自治研修所が主催する階層別研修に職員を派遣するとともに、市独自の研修を実施した。</li> </ul>
<p>4 市民との協働体制の確立</p>	<p>1)市民参加の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種計画等についてパブリックコメントを実施した。</li> <li>・「協働のまちづくり基本指針」に基づき、小浜市協働のまちづくり市民会議を開催するとともに、協働に関する各種事業を実施した。【H24年度～】</li> </ul>
	<p>2)情報の受発信体制の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページトップの改修を行うとともに、公式フェイスブックを立ち上げ、積極的な情報発信を行った。</li> <li>・USBメモリ等の使用の原則禁止や、ファイルサーバの導入によるデータの盗難防止・データ保全の強化を図った。</li> <li>・個人情報漏えいを防ぐため、地方公共団体情報システム機構によるeラーニング研修を実施した。</li> </ul>
	<p>3)市民と行政との信頼関係の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内12地区での「夢トーク」開催や出前講座を実施した。</li> </ul>

数値目標

項目		21年度実績	27年度末目標値	27年度実績
財政調整基金残高		10.6億円	12億円	17.6億円
起債残高(臨時財政対策債除く)		130億円	100億円	105.9億円
経常収支比率		93.9%	91.8%	96.8%
財政健全化 指標	実質赤字比率	0	0	0
	連結実質赤字比率	0	0	0
	実質公債費比率	13.8%	12.6%	10.8%
	将来負担比率	136%	100%	106.7%
小学校数		13校	12校	12校
保育園数		13園(H22)	11園	9園(H28)
正規職員数		316人(H22)	296人	296人(H28)

主な財政効果

《歳入の増収効果》

(単位:千円)

取組内容	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	合計
市税・国保税の特別徴収(滞納整理機構・冬季特別徴収)	36,823	39,622	45,129	52,326	46,596	220,496
ふるさと納税制度による寄附	4,167	4,339	2,840	6,878	150,178	168,402
土地開発公社用地の売却・賃貸 *1	78,958	11,696	7,312	25,282	34,179	157,427
未利用地の売却・賃貸	6,416	6,479	6,573	5,508	7,600	32,576
指定管理者制度の導入 *2		2,000	2,000	2,000	11,660	17,660
合計	126,364	64,136	63,854	91,994	250,213	596,561

\*1 27年度実績は、公社解散までの実績

\*2 24年度は市営駐車場、27年度は食文化館温浴施設、濱の四季

《歳出の削減効果》

(単位:千円)

取組内容	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	合計
施設の統廃合 *3	19,000	23,756	23,756	23,756	58,507	148,775
人件費(職員給)の削減	115,765	90,189	25,611		10,912	242,477
窓口業務等の民間委託(市民福祉課、上下水道課)					4,270	4,270
その他(公債費繰上償還等の推進、物品調達事務適正化等)	2,967	4,927	478	2,259	14,487	25,118
合計	137,732	118,872	49,845	26,015	88,176	420,640

\*3 23年度は田烏保育園・内外海児童センター、24年度は田烏小学校、27年度は雲浜・西津保育園

今後の課題

小さな行政への転換	一部の施設を除いて公共施設の指定管理者制度導入の検討は完了した。今後は業務の民間委託の検討が必要。施設については、公共施設等総合管理計画の個別計画を策定し、更新時期が近づく施設の統廃合や長寿命化等を計画的に進めていくことが必要。
持続可能な財政運営	人口減少や景気の低迷等により市税が伸び悩み、地方交付税の大幅な増加が期待できない。企業誘致の促進や徴収強化、口座振替利用促進やコンビニ収納による市税・保険料等の確保、使用料・手数料の見直しによる自主財源の確保が必要。国体会場整備や小学校建設など投資的経費が確実に増加していく中、大型事業の見直しを含め計画的な地方債の発行が必要。
経営感覚を持った行政機構の整備	職員数については目標値を達成している。平成30年度に開催される福井しあわせ元気国体に向けて一時的に職員数は増加するが、その後は職員数の適正管理を行っていく。またより充実した行政サービスの提供を行うため、職員の資質向上による生産性・効率性の向上が必要。
市民との協働体制の確立	協働のまちづくり基本指針や男女共同参画プランに定めた方針に基づき、主体性を持った市民の活動促進のための具体的な取組が必要。